

苫小牧市地域女性活躍推進事業【北海道苫小牧市】

個別事業費	13,361 千円
交付金額	10,020 千円

地域の実情と課題

- ・苫小牧市が実施した市民意識調査では、男女の地位について「社会全体で男性が優遇されている」と回答した割合が76.7%
- ・女性相談では、抱える困難の内容が年々複雑化している
- ・女性からの多岐にわたる事案に対し、傾聴や適切な支援先へつなぐ相談機関が必要

目的・目標

目的：気軽に相談できる場を設けるとともに、生理用品の提供から相談につなげ、そこから適切な機関へつなげられるよう支援する

目標：苫小牧市地域女性活躍推進事業における利用者数 1,000人

事業の特徴

- ・女性が参加しやすいサロンの開催により、困難や不安を抱える女性が気軽に相談できる居場所づくり及び人と人のつながりをつくる場の提供
- ・市内各施設に生理用品の提供場所を設けることで、相談の機会を広げる
- ・LINEを用いた相談受付を実施

連携団体

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

事業の効果

- ・相談件数 193件
- ・居場所づくり参加者数 423人
- ・生理用品提供件数 11,461件
- ・居場所づくりや生理用品提供のほか、リーフレット及びチラシ等により、相談先に悩む方を受け付け、必要な支援へつなぐことができた

今後の課題

- ・相談者の年代に偏りがあり、特に若年層の利用率の低さが目立つ
- ・LINE相談において、今後は対応時間を拡大するなど、若年層の利用促進に向けた工夫が必要である

事業の概要

苫小牧市地域女性活躍推進事業

①女性用品の提供:11,461件

困難を抱える女性が当該事業を知り、相談につながるように、女性用品の提供を実施。

主な配布先:市役所、市民活動センター、小学校、中学校、高等学校、大学、児童センター、コミュニティーセンター、フードバンク



②居場所づくり:参加者423人

困難を抱える女性のモヤモヤの解消や女性相談につながるきっかけになることを目的に実施。

主な実施内容:カラーアートセラピー、羊毛フェルト、お月さまと女性のバイオリズムなど



③女性相談:相談件数193件

本人の健康問題、娘や息子などの家族の問題、夫等からのDV、自身の金銭問題、親の介護の問題、生活費の問題、恋人や友人といった人間関係等、多様な内容の相談を受け付け。適切な相談機関を紹介するなど、必要な支援を行った。